

絆

清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長
清水はやと
2025(令和7)年4月号

希望にあふれたまちへシンカ

市民とともに、次のステージへ

今年の冬から春にかけては、自然災害やインフラに関する様々なトラブルが多くありました。そのような中で、さいたま市消防局は「緊急消防援助隊」として、大船渡市で発生した山林火災の支援に取り組みました。その活躍は様々なメディアで取り上げられています。不眠不休で事案対処に取り組んでいる職員の皆さんに改めて感謝申し上げます。

本市は、大宮台地上にあるという地理的優位性を活かし、首都圏のバックアップ拠点として「流域治水」「国土交通省の災害対策派遣隊の進出拠点整備」「防災アドバイザーの育成」など、災害対応力を強化してきました。これらの蓄積が市民の安心安全につながるよう、今回の経験を共有したいと思います。

さて、令和7年度さいたま市予算の重点的な特徴は、令和6年度補正予算を含めた「16カ月予算」として編成されている点です。

これは、国の補正予算に伴う物価高対策や防災・減災、国土強靱化の推進などを迅速かつ切れ目なく実施するため、令和7年度当初予算までを一体的に捉えたものです。

令和7年度予算は、次の4つの柱を中心に構成しています。

・新時代を切り拓くさいたま市らしさの深化

・誰一人取り残さない持続可能な地域社会の実現

・激甚化する自然災害への対策強化

・DX推進と公民学共創による質の高い市役所の創造

これらの柱は市民の生活の質、安全・安心、利便性の向上を図り、人口減少社会に向け、市民・企業団体の皆さんと一緒に、さいたま市をさらに魅力的な都市とする想いをカタチにする予算となっています。

おかげさまで、市民、団体、企業の方々のご支援とご協力により、さいたま市は大きく成長することができました。住み続けたいと感じる市民の割合は87.2%と過去最高となり、政令指定都市幸福度ランキング1位となるなど、客観的な評価も高まっています。

今、さいたま市は「次のステージ」に向かう時です。令和7年度当初予算を基本として、市民の皆さんと共に、さいたま市をさらにシンカさせ、希望にあふれたさいたま市を実現してまいります。



【プロフィール】昭和37(1962)年3月生まれ。市立植水小時代はアントニオ猪木のファン、プロレスラー志望。明治学院中時代は野球部の準レギュラー。高校時代はボクシングに熱中。日本大学法学部在学中はタイの難民キャンプや戦乱の中東へ。経験したアルバイトは10以上。「戦争と飢えをなくそう」と松下幸之助が設立した松下政経塾入塾。「運がいい男」と選ばれる。「地域から世界を変えたい」と埼玉県議を経て、平成21(2009)年にさいたま市長就任。さいたま市社会福祉協議会会長、指定都市市長会副会長ほか。マニフェスト大賞首長グランプリ受賞、ラーメン、スイーツ大好き。趣味はマラソン、手話ダンス、茶道。AB型。著書多数。座右の名は「素志貫徹」。

過去最大級の予算 約1兆1,663億円

安全安心、社会保障関連施策に実行力

子育て支援の充実 1,656億円

- 児童手当の支給の拡大
- 子育て支援医療費の助成
- 放課後児童支援員の処遇改善
- 放課後子どもの居場所事業のモデル事業実施
- こども誰でも通園制度の試行的実施
- 産後ケア事業の拡充
- 私立幼稚園等における特別支援教育の支援充実 ほか

高齢者福祉の推進 2,418億円

- 带状疱疹ワクチン接種事業の実施
- 高齢者等の移動手段確保実証実験
- 社会福祉法人等が行う移動支援事業への補助金交付 ほか

防災・減災対策の強化 434億円

- 緊急輸送道路等の橋りょう耐震化の推進
- 幹線道路の着実な整備推進
- 準用河川整備の推進
- 下水道浸水対策の推進 ほか

生活の利便性向上 95億円

- 「書かない窓口」の全区展開
- 窓口手続のオンライン化拡充
- キャッシュレス決済の対象拡大 ほか

健康増進の取組 207億円

- さいたま市口腔保健センター(仮称)の整備
- 障害者歯科診療の推進
- アピアランスケア支援事業 ほか
- (がん患者の治療と社会参加の両立の支援)

4つのシンカ

- 1 安全で強靱な都市へのシンカ
- 2 誇りあふれる都市へのシンカ
- 3 誰一人取り残さない
しあわせ実感都市へのシンカ
- 4 絆で支えあう都市へのシンカ

希望のまちへ もっとシンカ!

希望のまちへもっとシンカ!